

三重県障害者施策推進協議会 令和6年度第1回手話施策推進部会概要

日時 令和7年1月20日(月) 10時00分～11時45分

場所 三重県勤労者福祉会館 4階 第3教室(三重県津市栄町1丁目891番地)

出席者 別紙のとおり

<会議の概要>

事項1 あいさつ

事項2 委員紹介、部会長選出など

- ・第3次手話施策推進計画期間(令和6～8年度)となって初めての部会であり、委員の改選があったことから、委員の紹介があった。
- ・部会長(議長)は委員の互選により、安田委員が選出された。
- ・議長に事故があった場合の職務代理者には、深川委員が指名された。
- ・部会長から提案があり、関係者の出席について了承された。

事項3 協議事項

- (1)「第2次三重県手話施策推進計画」の取組実績(令和5年度)について【資料1】
- (2)「第3次三重県手話施策推進計画」の取組状況(令和6年度)について【資料2】

主な発言

委員 【資料1】1(1)④みえ出前トークについて、県民からの依頼に応じて手話通訳など情報保障を付けることは良いことだと思う。それにとどまらず、出前トークのテーマの中に、聴覚障がいについて学ぶことができるテーマ(例:聞こえない・聞こえにくい人の生活と手話)を追加するとより良いと思う。また、出前トークを知った県民が、さらに踏み込んで【資料1】3(1)④県民向け手話講座を知ってもらい、手話講座の申込につながるようなしかけがあればもっと良いのではないか。

委員 当法人が県民向け手話講座の業務を受託している。申込のあった団体にたずねると、これまで手話講座のことを知らなかったとの声をよく聞く。みえ出前トークは県民によく知られていると思うので、出前トークと連携したPRができればありがたい。

事務局 出前トークは、県民の皆さんに県の施策を知っていただくというのが事業の趣旨である。聴覚障がいについて知ってもらえるようなテーマ設定ができないか、また県民向け手話講座とどのような連携ができるかについて検討させていただく。

【検討結果】

広聴広報課と連携し、県民向け手話講座を出前トークのテーマに追加することで県民へのさらなる周知を図ります。なお、テーマの一例として「県の手話施策の取組について(手話体験を含む)」など、出前トークの趣旨に沿ったテーマを検討します。

委員 【資料1】1(1)⑧「わかりやすい情報の提供のためのガイドライン」の完成版を提供願いたい。また、「手話を含めたわかりやすい情報の発信」とあるが、手話以外にどのような

ものがあるか。

事務局 担当課(家庭福祉・施設整備課)に確認し、報告させていただく。

【確認結果】

要約筆記者や補聴援助システム(ヒアリンググループ)を配置することが考えられます(ガイドライン P23)。

委員 **【資料2】2(1)②**令和7年度以降の手話通訳者等の派遣にかかる報償費を 1,500 円から 2,000 円に改定したことについて、2,000 円の根拠を教えてください。

事務局 県としてこれまで少なくとも20年近く報償費の単価を見直してこなかった経緯があり、都道府県や県内市町における報償費の支給状況や民間の賃上げ状況をふまえて 2,000 円と設定し、予算を要求させていただいた。

委員 手話通訳資格を取得するのに最低4年はかかるし、全国統一試験の合格率も全国平均で 20%程度と簡単に取得できるような資格ではない。それだけの時間と労力、費用を費やして資格を取得し、ろう者の情報保障に従事する者への対価として 2,000 円が適正な金額か、他言語の通訳者との比較検討などもふまえ、引き続きの検討をお願いしたい。なお、見直しの姿勢として、県全体の均衡をとるような金額の設定ではなく、手話通訳者の待遇の抜本的な改善に向け、市町に対して県が率先して報償費を見直す姿勢を示していただくのを期待したい。

委員 **【資料1】3(2)①**県職員向け手話研修に関連して、新規採用職員研修に手話研修を取り入れていただきたい。

事務局 担当課(人事課)にご意見を伝えさせていただく。

部会長 **【資料2】3(3)①**三重県教育ビジョンに関する調査の中で手話に関する調査を行うとあるが、具体的にどのような調査を行うのか。

委員 調査の内容については、教育委員会内(担当課:小中学校教育課)で確認のうえ、回答させていただく。

【確認結果】

手話を学ぶ活動について、実施している小中学校の数、主な取組内容と実施学年、実施教科等を調査しています。

委員 **【資料2】5(1)③**「医療ネットみえ」で使用されている耳マークのアイコンは、聴覚障がい者への配慮(手話による対応)ができる医療機関を表しており、筆談など手話以外の対応も含まれているものと思われる。そうならば、この記載内容は誤解を招く表現であり、修正が必要ではないか。

事務局 担当課(医療政策課)に確認の上、回答させていただく。

【確認結果】

医療情報ネットの耳マークのアイコンは、「聴覚障がい者への配慮」を行っていると報告した医療機関に表示されるもので、具体的な配慮の内容として、手話による対応、筆談など文字による対応などがあります。このため、筆談による対応が可能な医療機関に

も耳マークのアイコンが表示されています。

なお、今回、取組状況として報告した 21 機関は、すべて手話による対応が可能であることを確認しました。

関係者 **【資料2】3(1)②**三重県手話サークル連絡協議会内でもチラシ等啓発グッズを配布したいのだが、手話サークルから個人的に依頼があって配布されたのか。

事務局 いくつかの手話サークルからは直接依頼があった。啓発グッズは毎年市町に送付しているので、手話サークルの活動する市町から受け取っていただいてもかまわないし、県に直接依頼していただいてもかまわない。また手話サークル連絡協議会で配布されたいのであれば、その旨おっしゃっていただければと思う。

委員 数値目標のうち、聾学校における保護者向け講習会の参加者数について、各年度の参加者数ではなく累計としている理由を教えてください。

部会長 累計だけでなく各年度の実績も併記されていた方がわかりやすいかもしれない。

委員 所属(特別支援教育課)に持ち帰り、確認した上で回答させていただく。

【確認結果】

聾学校における保護者向け講習会は、第1次手話施策推進計画策定当初から成果目標に設定していることから、累計の方が過去をふまえた取組の実績がわかりやすいとの考えのもと、累計表記とさせていただきます。

委員 **【資料2】5(1)④**バリアフリー施設調査に関連して、先日東海ブロックのイベントを県内で開催した際に、県外から参加した複数の聴覚障がい者が、宿泊したホテルのテレビの字幕表示ができない設定に変えられていたと言っていた。今年度は8か所でバリアフリー施設調査を実施予定とのことだが、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法もふまえ、聴覚障がい者の情報取得への配慮がなされているか、より多くの施設を対象に調査を行っていただきたい。

事務局 担当課(観光振興課)にご意見を伝えさせていただきます。

委員 市が手話奉仕員を養成し、県が手話通訳者を養成するという役割分担のもと、市と県が連携して取組を進めている。**【資料2】2(1)②**今年度の手話通訳者養成講座の開催場所を伊勢にさせていただいたことで県南部からの参加がしやすくなったことをありがたく感じている。また、伊勢市の職員向けに行っている手話講座について、今年度は市内の障害福祉サービス事業所や介護事業所にも対象を広げて募集したところ好評だったので、取組の参考にしていただければと思う。

関係者 **【資料2】4(3)②**子ども心身発達医療センターにおいて、聴覚障がいのある乳児の保護者を対象に手話学習会を行ったとあるが、学習会の詳細を教えてください。

委員 子ども心身発達医療センターに確認させていただく。

【確認結果】

手話学習会は、聴覚障がいのある乳児と保護者がコミュニケーションを図る上での一

助となることを目的に、センター難聴児支援課の職員(言語聴覚士)が、乳児の日常生活に沿った単語・短文の習得の支援を行っているものです。

※実施状況(回数、延べ参加者数)

R5年度:10回、35人 R6年度(~12月)9回、37人

委員 **【資料2】1(3)**令和6年1月の能登半島地震で、石川県が県内の聞こえない人の情報を集約することができたのは、石川県の手話通訳資格を持つ職員が正規職員であること、また県内市町の設置通訳者もその多くが正規職員であることが大きい。三重県でも南海トラフ地震にそなえて聞こえない人の安全の確保の観点からも正規職員の配置を検討していただきたい。

事務局 関係部署(人事課・人事委員会事務局)に伝えさせていただく。

委員 資料1と資料2のどちらを確認するのかすぐに判別できないので、次回以降、資料のページ番号を付ける際に、資料1と資料2を通してページ番号を付けるか、「1-〇(ページ数)」「2-〇(ページ数)」というようなページ表記にさせていただくようお願いしたい。

事務局 次回以降、資料が区別しやすいような表記に改めさせていただく。

以上